



広島ユネスコ協会ホームページを
近々開設の予定です。

(<http://www.unesco.jp/hiroshima/>)

また、同時にEメールも。情報提供
はこちらまで。

(hiroshima@unesco.or.jp)

二〇〇二年度総会を開催

結成三十周年へ向けて始動

二〇〇二年度広島ユネスコ協
会総会は、去る五月二十五日、
広島国際会議場研修室において
開催されました。昨年度事業報
告、同決算が原案どおり承認さ
れたあと、本年度の事業計画と
予算が審議されました。本年度
の重点として、①韓国ユネスコ

大邱協会との姉妹交流の推進
②協会結成三十周年前年の取り
組み推進③組織強化の三点
を掲げ、総額二百四十八万円の
規模の事業を実施することを内
容とする原案が承認されまし
た。
本年度は、これまでの世界遺

産関連事業、ユネスコ活動奨励
賞、高校生をつどい、ユネスコ・
サロンなどに加えて、韓国大邱
訪問及び韓国講座、大邱協会青
年部受入れ、青少年対象の語学
講座（英語、ハンゲル）、さら
には、来年の結成三十周年を記
念した事業の企画委員会の運営
などが実施されることとなって
います。
また、広報活動の一環として
ホームページのたちあげも予定
されています。
なお、今年度役員は前年度ど
おりで承認されており

大邱ユネスコ広島訪問

深まった絆を確め合って

UNESCO大邱協会広島訪
問団は、六月一日、広島入りさ
れ、滞在中、親善交流と友好促
進に努められ、W杯日韓共催
ムードも手伝って、広島・大邱
の両協会と市民の間で更に深ま
った絆を確かめ合う実り多い五
日間となりました。一行の足ど
りは次のとおりです。
▽一日/夜、広島到着（J R
広島駅・ホテル出迎え）
▽二日/平和公園。韓国人原
爆被爆者と広島市の慰霊碑に献花
（NHK取材、ニュース放送）。
広島平和記念資料館見学。お好
み焼き昼食パーティー。縮景園
お茶席。歓迎晩餐会（広島・大

邱両会長挨拶。記念品交換で広
島の会長からW杯公式球を大邱
会長へ。広島市長メッセージ披
露、広島県日韓親善協会金井宏
一郎会長・乾杯の発声）。日韓
カラオケ・タイム（歓迎晩餐会
におけるあいさつの要旨は2
ページ）
▽三日/大邱市源花女子高校
比治山女子高校の姉妹校協定調
印式（李旭校長・大邱協会副会
長、梶山時彦校長。韓国総領事
大邱・広島両会長が立会人。比
治山女子高校で）。比治山女子
高校主催昼食会。広島県日韓親
善協会主催パーティー。
▽四日/原爆ドーム。宮島へ。

訪問団メンバー（敬称略）		
会長	全 達出	（韓国ユ協連会長）
副会長	徐 千濟	（前毎日新聞理事）
	崔 善熙	（夫人）
副会長	李 旭	（源花女子高校長）
	金 民子	（夫人）
監 事	朴 炫業	（前大邱銀行支店長）
	申 靖子	（夫人）

宮島ユネスコ協会出迎え・案
内。厳島神社。大願寺（韓国行
脚の僧侶の屏風）。大聖院（精
進料理、ガイド）。ロープウェ
イ。瀬戸内海眺望。晩餐会
▽五日/J R広島駅見送り



（写真は、六月二日の歓迎晩餐会
であいさつされる全会長）

第五回広島ユネスコ活動奨励賞公募開始

国際平和文化都市広島市を支

項を記入

える教育現場と地域でのとりくみの優れた活動を顕彰し、また世界の平和に貢献する国際活動のあり方を求めて、広島ユネスコ活動奨励賞の第五回目の公募を開始します。

△募集要項▽

▽対象／国際理解、国際協力、国際交流に関する継続的活動

▽部門／学校部門（広島市内小学校、中学校、高等学校）

▽社会部門（広島市内公民館などで活動する団体）

▽応募方法／募集要項（請求により郵送。学校、公民館等は直接送付）の応募票に必要事項を記入

▽問い合わせ・提出先／広島ユネスコ協会（東区牛田新町一

一八一三牛田公民館気付）

▽応募締切り／十一月二十日

▽発表／十二月中旬

▽表彰／賞状、楯を授与

▽表彰式／二〇〇三年一月中旬

▽広島ユネスコ協会主催、広島市教育委員会後援。

第四回広島ユネスコ活動奨励賞受賞団体紹介（その2）

△ヒロシマ・セミパラチンスク・プロジェクト▽

ソ連が49年、セミパラチンスクで核実験を実施して以来、約四百七十回の核実験が繰り返され、現在のカザフスタン共和国セミパラチンスク周辺では放射能の影響を受けた住民はカザフスタン国内で約二百二十万人、今も癌、白血病などの被曝の後遺症に苦しむ人が三十万人。「核実験被害市民の社会保護法」発効後も深刻な医療品不足などで支援が行き届いていなかった。同プロジェクトの設立は98年。その端緒は94年のアジア競技大会開催から始まった公民館の「一館一国運動」。97年、カザフスタンを応援した鈴峰公民館の親善訪問団「広島カザフスタン友好の会」が現地の医療施設を訪ねた際、被曝による奇形児の検体に衝撃を受け、その後、市民参加の組織を結成し、支援態勢を整えた。

99年、セミパラチンスク市で開かれた核実験開始五十周年の会議に出席したプロジェクト訪問団は、核兵器廃絶を訴えるとともに検診車、超音波診断装置等を贈った。その後毎年、訪問団を派遣。01年夏は、広島大学原爆放射能医学研究所医療チームに同行、スタディ・ツアーの高校生、大学生も加わって核被害の調査をするなど、多面的な医療支援を継続。

また、訪問団の報告会、チャリティー・コンサート、現地の模様を記録した写真展、イベント参加などを通じて市民の関心を喚起して支援募金の確保に努めるほか、現地高校生の広島留学（山陽女子高校）の受け入れ協力などきめ細かい支援と交流を進めている。会員百余名。

△広島モンゴル協会▽

94年のアジア競技大会に伴う「二館一国運動」で楽々園公民館がモンゴル国を応援。これを受けて95年設立。会員四十名。活動の主なものには市民へのモンゴル紹介。伏せた碗の形状をしたゲル（モンゴル遊牧民の家屋）を目玉に、その組み立てから展示に至る参加型の展開の中でモンゴルの生活と文化を、その装備品と現地の記録写真パネル展示とで理解してもらおうというもの。活動の場は、ひろしまフラーワー・フェスティバル、廿日市市国際フェスティバル、楽々園公民館まつり、鈴が峰女子中・高等学校と、拡大・定着させつつあり、異文化理解に寄与している。このほか、毎月のモンゴル語講座などを公民館と連携して実施している。

98年の親善訪問以来、在広島留学生支援、広島訪問選手団との交流など人的交流も重ね、雪害支援活動も取り組んでいる。昨年八月、中国地方四県のモンゴル交流協会が連絡会を開くなど、その活動は学区、市域を越えて広がろうとしている。

△こぐさ・日本語教室▽

97年設立以来、毎週水曜日、竹屋公民館を会場に概ね約十五名の外国人を対象に日本語教室を開いてきている。受講者はバングラデシュ、インドネシア、フィリピン、中国、ロシア、ブラジルなどの外国人、帰国子女、留学生。国際結婚、就職、就学などから日本の生活を送る受講者の中には、来日間もないため学習についていくことが困難な人、一方、日本語学習経験があり、短期の学習経験で小学校や老人クラブへ出かけて自国のこ

大邱協会歓迎晩餐会でのメッセージ（抜粋）

★UNESCO 大邱協会・全達出会長 「広島市に原爆が投下され、廃墟になりましたが、市民の汗と力で復旧し、国際平和都市に変わりました。広島市が平和を愛する都市として永らく発展致しますよう、その中でも広島ユネスコ協会は平和を支える大いなる柱となりますよう願っています」

★北川会長 「南北会談のビッグ・ニュースが駆けめぐる2年前の6月、大邱と広島のユネスコ協会が姉妹協定を締結し、そして2年後、世界の眼が両国に注がれ、交流と友好が飛躍的に深まってきました。大邱と広島のユネスコ協会が会合の時、明るい超大型ニュースが追いかけてきます。姉妹提携が良縁である証拠でしょう」

★広島市長 「ワールドカツフ開催で世界の人びとの眼が日本と韓国に向けられている時に、広島市の姉妹都市である大邱広域市のユネスコ協会と広島市のユネスコ協会が交流を深められることは、双方のユネスコ会員はもとより両都市の市民、更には日韓の友好促進のためにも意義あることです」

とを日本語で話せる人と、日本語の習熟に差異があり、指導者は、教材の準備と教室の展開に腐心してきた。

日本語習得のほかに、季節に応じた伝統行事を取り入れて日本の生活習慣や文化に対する理解を促し、地域に住む日本人と

ユネスコ全国大会へ 広島から五名参加

第五十八回日本ユネスコ運動全国大会が六月一・二日両日、神戸市で開かれ、当協会から北川会長、木村副会長、藤井正一・

梶井両理事、和泉美佐保さんが出席しました。組織部会所属の梶井理事は「青年の集い」と組織の世代間ギャップをテーマの分科会に参加しました(同大会にはUNESCO大邱協会の訪日団も参加され、大会初日の夜、北川会長らと広島入り)。

ユネスコ全国大会に参加して

梶井 朝子

この度、初めて全国大会に参加してまいりました。開会式では、ホールにあふれんばかりの人々の熱気の中、外務・文部科学大臣、兵庫県知事、神戸市長などの挨拶があり(代理出席含

受講者の交流を図る場を設けている。また、お国自慢の国際料理づくり、みかん狩りなど受講者間の交流も重視。

文集を年一回発行。第五集までの文集は受講者と指導者の国際交流の記録ともなっている。

む)、日本ユネスコ協会の位置付けや、大会規模の大きさを実感いたしました。また、韓国ユネスコ協会や、アフガニスタンの方々のご参加など、ユネスコらしい国際的な大会と思えました。

基調講演では、女性物理学者の米沢さんのお話を伺い、プラストとマイナスの面を持つ科学を上手に使うのは、人間の英知、倫理だという結論に、科学の進歩とは裏腹に、衰退しているかに見える人間の英知や倫理観でそれをコントロールしていけるのだろうか、少し疑問と不安が残りました。

夜は、青年の集いに参加しました。全国十七団体から四十名が参加しての青年の集い。実行委員の青年たちが中心となり、自己紹介やゲーム、そして翌日の全体会の最後に行く青年アピール(手話付きの歌)の練習をしました。皆しっかりしたよ

い若者たちなのには、正直なところ驚きました。夜、同室となった大阪と石川の大学生に話を聞くと、それぞれ青年部の会員集めに苦労しているとのこと。効果があるのがアジア等へのスタディツアーの実施ということ、その準備企画をしているとのことでした。

二日目、分科会は「続・ジェネレーションギャップの解消法」に参加しました。前夜の青年の集いに参加していたメンバーに大会会員が加わり、五、六名のグループ、十班に分かれて討議しました。私のグループ

には、杉並、目黒、萩、札幌ユ協の方がおられ、それぞれ青年部の構成層は、杉並は高校生以上、目黒は大学生、萩は二十、六十才代、札幌は高校生と各所各様。青年部が何をしているかわからないという大会会員の方もおられました。広島には青年部がないので、そのギャップも経験していないのですが、このグループディスカッションでは、

青年と大人、双方お互いへの要望を出し合い、それを解決するためのキーポイントを探りました。大人からは、もっと一緒に活動したい、もっとユネスコ色の強い活動をなど、また青年からは、大人と同じ立場で活動

したい、グローバルな視点で見てほしいなど、出されました。そして、その解決のポイントとしては、語らいの場を設ける、ということでの私の班はまとまりました。今回青年の集いに参加してみても、集まっていた青年たちの熱心さ、エネルギーはすばらしいと思いました。ギャップを生むことなく、そういった若者たちと一緒に活動できる状況が作れないものかと思えます。

(理事)

平和の鐘 今年は大邱の青年も参加

核兵器の廃絶と世界平和を願って毎年八月十五日正午についできた「平和の鐘」を、今年もユネスコ大邱協会青年の広島訪問を機に、十一日、十三時、平和公園の平和の鐘の鐘楼でつきました。当日、会場では、平和へのメッセージが広島・大邱からそれぞれ表明され、数十名の参加者が平和への思いを込めて鐘を鳴らしました。

大邱協会の青年グループ広島へ

日韓青少年文化交流大会(松江市)参加の大邱協会青年グループが、八月十日、広島を訪問、平和と文化の学習・交流を

重ねました。

一行は、お馴染みの徐千済副会長を団長に、大建・源花女子・大邱商・東部工業各高校生二十二名と指導者十一名。

同十一日は二つの慰霊碑参拝、原爆資料館見学、高橋副会長の講話などの日程に八月十五日予定の「平和の鐘」を練入れ、韓国訪問団と広島ユネスコ協会会員が世界の平和を祈願して平和公園の「平和の鐘」をつきました。

その日の午後は今回の受け入れに協力をいただいた法瀧寺(西区)で同青年部を迎え入れ、広島側が琴の演奏を、大邱側が「農楽」(サムルノリ)を披露するなど交流を深めました。

十二日は宮島ユネスコ協会の受け入れで世界遺産・厳島神社を見学の後、下関、釜山経由で帰国。先般の比治山女子高校の姉妹校協定調印に続く広島・大邱の青少年交流の、図らずも第二弾となりました。

韓国語講座

対象/青少年 (概ね30歳以下)
定員/30名
会期など/11月1日~29日 全5回。週1回 (毎週金曜日18:30~)
会場/市青少年センター
受講料/1000円

加藤朗一先生を偲ぶ

新川 貞之

ユネスコ加盟記念日の文月一日、加藤朗一先生の突然の訃報に接し、大変驚きました。竹沢、井尾、亀井さん共々高田郡向原町の仏前に深く合掌いたしました。W杯サッカーテレビ放送を見ながら永眠されたとのことでした。

広島におけるユネスコ活動が休眠状態の中、広島ユネスコクラブ(後の協会)が一九七三(昭和四十八)年に発足しましたが、その再スタート以前からユネスコ活動に関心をもたれていた加藤先生は、協会において晩年ま

で副会長、顧問などに就任されて発展に尽力されました。一九八八(昭和六十三)年十月、広島ユネスコ協会は岐阜県ユネスコ協会とともに、日本ユネスコ協会連盟同行のもと、北京を訪れ、同市ユネスコクラブ協会との間で「日中ユネスコ友好姉妹提携」の締結に調印しました。広島ユネスコ協会からは、加藤朗一副会長、信井正行副会長(故人)、そして常任理事の新川貞之が参加しましたが、加藤先生はその訪中団団長をつとめられました。

加藤団長の達者な中国語の挨拶で調印を済ませ、待望の敦煌、蘭州、西安などを同市教育局長の案内で訪れ、皆さんの熱烈歓迎

迎を受けました。莫高窟の壁画、仏像などにふれ、全員深い感動を覚えたものです。また、はじめて見る砂漠の細かい砂粒に足を埋め、鳴砂山の断崖を見ながらラクダに乗ってキャラバン隊の気分を味わい、地元の有名人の顔とともに頭に浮びます。

加藤先生は、中国をこよなく愛され、たびたび訪中されておられます。みやげ話もよくお聞きしたものです。

広島ユネスコ協会の新春フェスタで音楽が好きだった先生ともう逢えないのが残念です。余人をもって替え難い師を失いました。故人をしのびながら、ご

めい福をお祈りします。(常任理事) 二〇〇〇新春フェスタにおけるありし日の加藤朗一先生(前列右から二番目)



／第百五回ユネスコサロン「広島図書と『銀の鈴』をめぐる人びと」児童文学者・三浦精子 28日／大邱協会受け入れ委員会 31日／ユネスコ中央委員会 (北川会長、神戸)

△6月▽ 1日／ユネスコ全国大会(会長、木村副会長ら5名。神戸) 青年の集い(梶井理事) 大邱ユネスコ協会訪日団 広島入り(五日) 2日／同歓迎晩餐会 3日／姉妹校提携調印(比治山女子・韓国源花女子高) 30日／加藤朗一顧問死去 △7月▽ 3日／30周年企画委員会 11日／劇団ひまわり来広(30周年企画候補「コルチャック先生」広島公演で) 13日／第百六回ユネスコサロン「和菓子屋の窓から」菓子処主人・世良邦治 理事会

第一弾 ひろしまを英語で話そう 九月から開講

簡単な日常英会話を身につけ、在広、来訪外国人をおもてなしするとともに、諸外国との交流を通して国際感覚を養っていくことをねらいとして、昨年度に引続き今年度も青少年センターと共催して、来る九月二十日から五回、英会話教室「ひろしまを英語で話そう」を実施いたします。

昨年度は、教室終了後、自主グループとして発足いたしました。しかし、会員が仕事などの関係で参加できなくなつて次第に減少し、会を運営していくことが困難な状況になっております。当協会としてはユネスコ活動についての理解と関心を高めていただくために、青年の自主的活動を積極的に支援するとともに、青年部結成に向けての足掛かりにしていきたいと考えております。

多数の参加をお待ちしております。 日時／九月二十日から毎週金曜日(全五回) 午後六時三十分から

■場所／青少年センター ■対象／十八歳から概ね三十歳までの青年(学生を除く)

広島ユネスコ協会二〇〇二年度会費をまだ納入されていない方は、納入方よろしくお祈りいたします。

日誌

△5月▽

2日／第2回「大邱の日」参画 (青少年コンサート)

7日／大邱協会受け入れ委員会

8日／文化部会 教育部会

13日／ユネスコ活動促進要請・

広島桜が丘高校校長

17日／理事会

25日／二〇〇二年度総会 (広島国際会議場)

15日／ユネスコ活動促進要請・ 比治山女子高校校長 ほか 16日／広島市長要請(30周年企画で。高橋副会長、事務局長) 日ユ協連盟石神澄子氏ら 来広(高校生全国大会広島開催の件)